

# ケアマネジャー向け ライフリズムナビ+Dr.活用説明会

EcoNaviSta

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869

 ライフリズムナビ+Dr.  
Life Rhythm Navi Plus Doctor

専門医が考えたSaaS型高齢者見守りシステムで  
介護・医療現場のお悩みを解決します。



# 本日の目次

---

- 01 ライフリズムナビで実現可能なこと 4
- 02 基本的な使い方 7
- 03 アセスメントへの活用 9
- 04 ケアプランへの活用 12
- 05 モニタリングへの活用 14
- 06 事例から考える 16
- 07 ケアプランへの活用STEP 29
- 08 データの保管について 30
- 09 質疑応答 32

# 01 ライフリズムナビで実現可能なこと

## Before

- ・センサーが反応してから対応
- ・職員個々の感覚によるケア
- ・記録の仕方が職員によってバラバラ
- ・施設の定時でのケアが、入居者それぞれの生活リズムに合わず不穏になることも



## After

- ・リアルタイムでベッド上の動きを確認
- ・睡眠、バイタル情報をデータで可視化
- ・データを24時間365日取得
- ・本人の生活リズムに沿ったケアを行うことで入居者、職員双方の負担軽減

# 01 ライフリズムナビで実現可能なこと

## 現場の声

ライフリズムナビのデータがご家族への説明資料になりました。



ベッドからの動き出しタイミングが分かるため、無駄な移動が減りました！



ご入居様を起こしてしまうことが減った。



ご本人からの拒否がなく、適切なタイミングでケアに入れるようになりました！



24時間見守りシステムで看取りケアも安心！



動き出しのタイミングがわかるようになり訪室回数が減った。



巡視時間が減って休憩時間が増えた。スタッフ間のコミュニケーションが増えた。



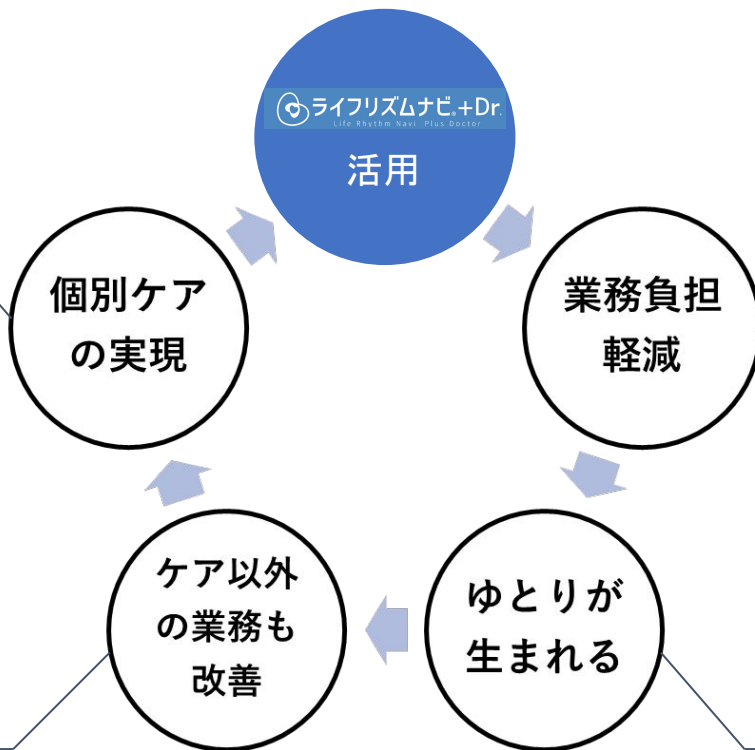
お部屋の様子分かるようになり訪室の回数が削減されました！



# 01 ライフリズムナビで実現可能なこと

## QOL向上サイクル

- ・ケアの質向上
- ・入居者のADL向上
- ・入居者の満足度UP



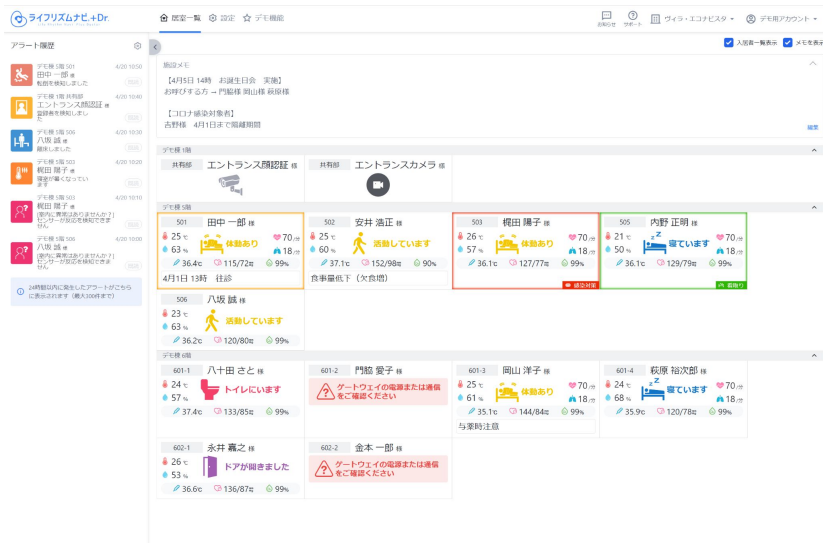
- ・巡視削減
- ・事故防止etc...

- ・滞っていた業務への着手

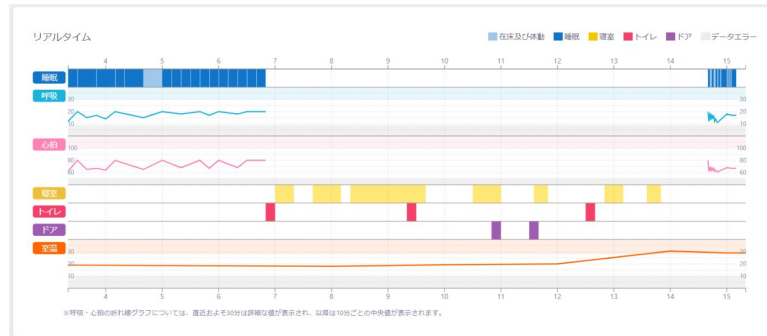
- ・事故報告書作成時間の削減
- ・スタッフ間のコミュニケーション増加
- ・先回りの介護

# 02 基本的な使い方

## 居室一覧画面



## リアルタイムデータ/睡眠スコア



## 02 基本的な使い方

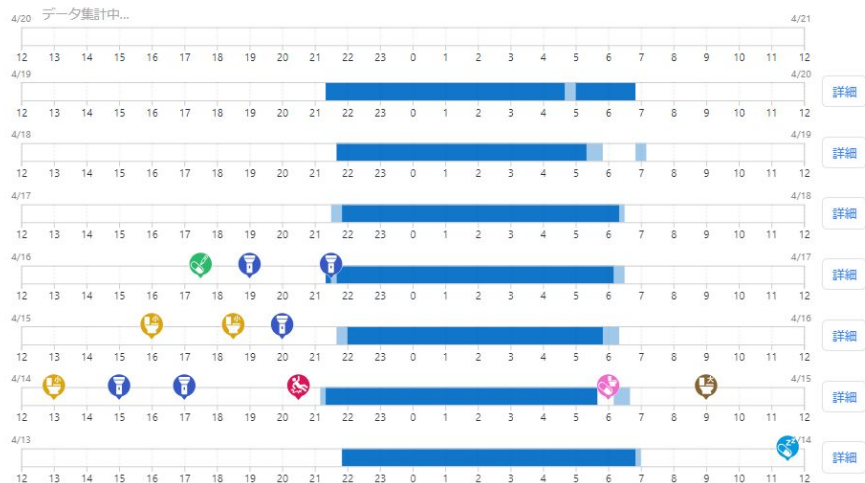
### 過去データ

過去データ

2022年 4月

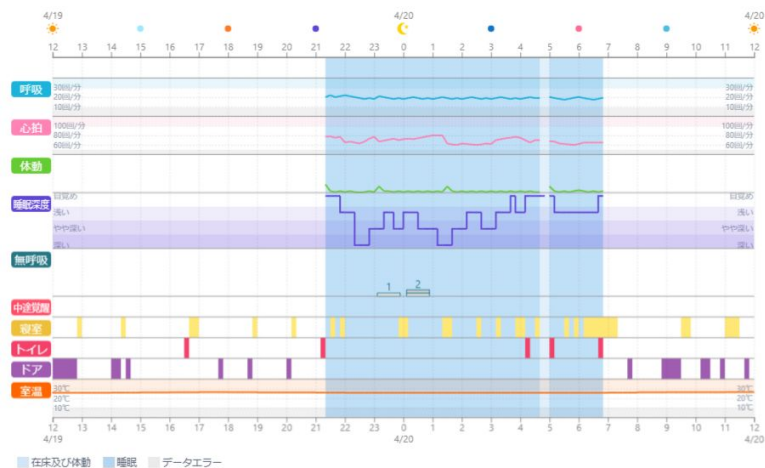
■ 在床及び体動 ■ 睡眠 ■ 寝室 ■ トイレ ■ ドア ■ データエラー

センサー絞り込み:  ベッド  寝室人感  トイレ人感  ドア



### 1日ごとの詳細データ

2022年4月19日 12:00 ~ 4月20日 12:00の詳細データ

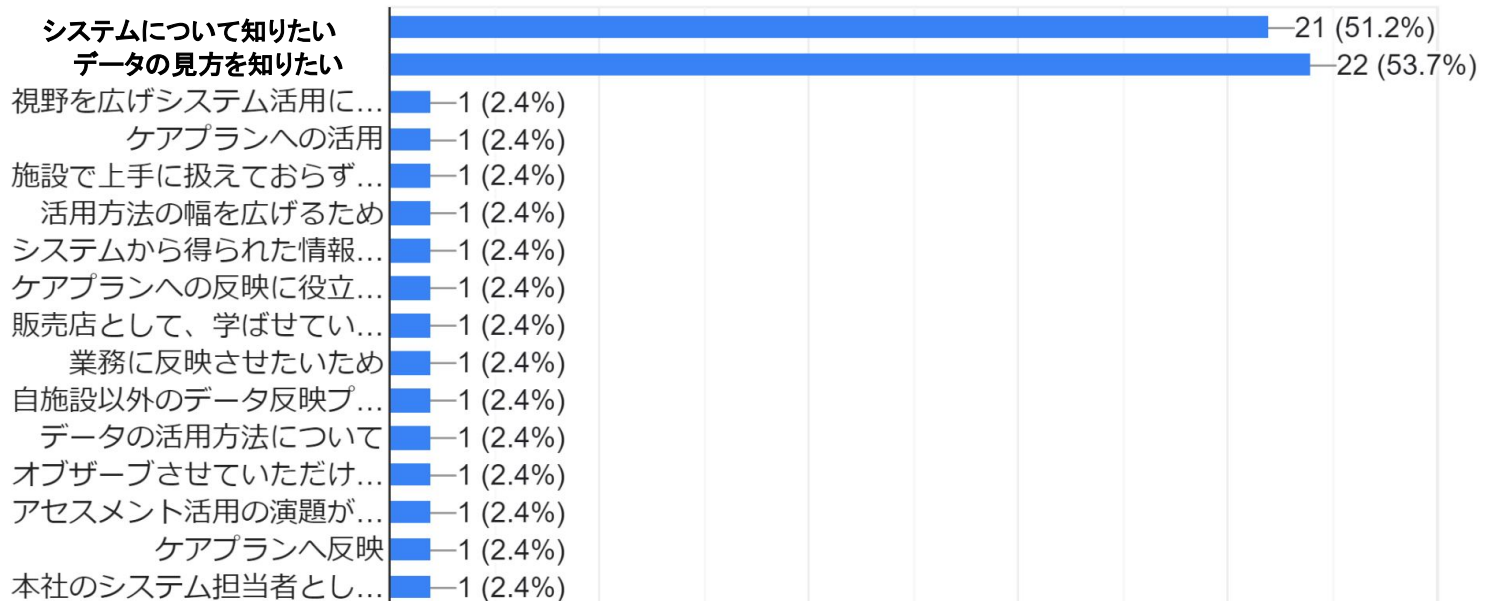


睡眠時間 8.1時間  
室温 最低 26.1℃ 最高 29.3℃  
湿度 最低 52.5% 最高 62.4%  
スコア 疲労回復度 75点 快眠指数 76点 快適環境指数 78点

### 03 アセスメントへの活用

#### 参加動機について(なぜこのセミナーに参加したいのか、興味や期待など)

N=45 複数回答可



ケアマネジャー向けライフリズムナビ活用説明会アンケート結果



## 03 アセスメントへの活用

### アセスメントツール

- MDS方式
- 全老健版ケアマネジメント方式R4システム
- 日本介護福祉会方式      等...



アセスメントツールの一つとして、**ライフリズムナビのデータ**をご活用ください。

## 03 アセスメントへの活用

### 多角的な視点からの課題の抽出

#### ご利用者様情報

介護記録  
ご利用者様の状態  
ご利用者様の生活環境  
生活歴 等



#### ライフリズムナビ

睡眠データ  
中途覚醒  
生活リズム  
体動の様子 等



#### ニーズを発見！

解決すべき課題  
ご利用者様のニーズ  
を発見できる！

## 04 ケアプランへの活用

### ケアプランへの記載について

ケアプランにライフリズムナビを記載した方がいいのか？

**→ぜひ、記載してください！**

#### 記載するべき三つの理由



個別性のある  
プランを作成できる



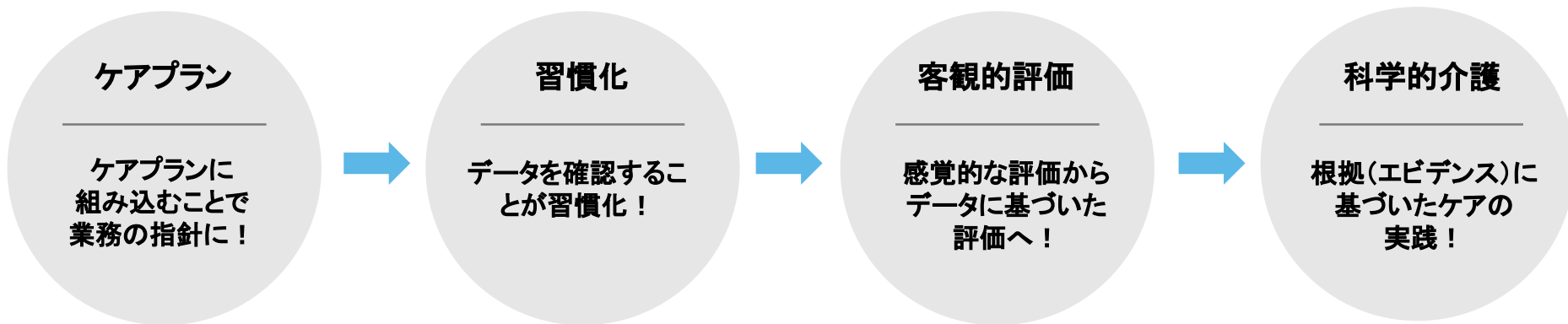
サービス実施の際に  
スタッフへの意識づけ  
になる



エビデンス(データ)  
に基づいて評価ができる

## 04 ケアプランへの活用

ケアプランにライフリズムナビを記載することによる効果

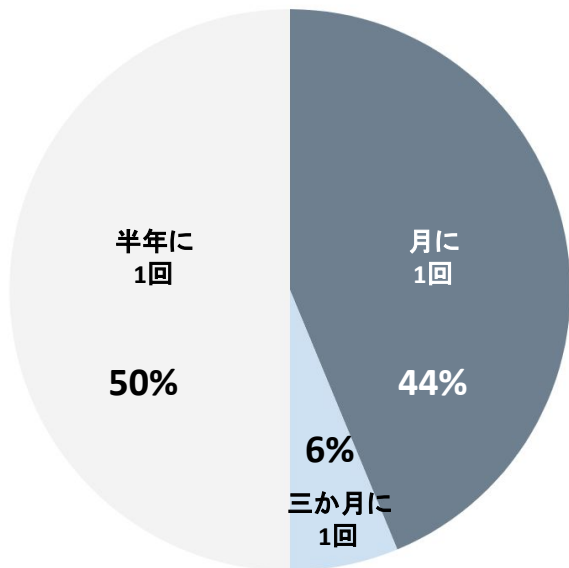


サービス実施の際にスタッフへの意識づけに繋がる

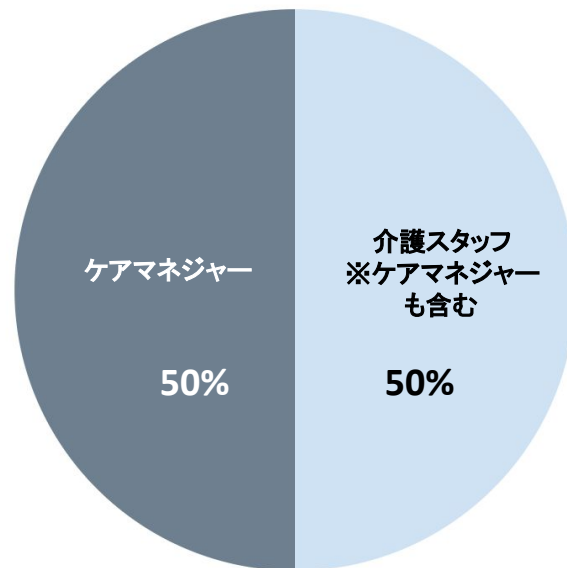
## 05 モニタリングへの活用

### ケアプランの更新について

#### 頻度



#### 実施者



説明会参加者へのヒヤリング結果 N=16

## 05 モニタリングへの活用

### ライフリズムナビのデータを活用することの効果

ライフリズムナビのデータを活用することで、  
計画したケア内容が入居者にどのような効果あったか、**評価が可能に！**

#### 感覚論から根拠に基づいて睡眠を評価

従来は、巡視の記録など人の目での評価の為、睡眠の評価が難しかった。

不用意にドクターに「あまり眠れていない」と伝えると、必要以上に眠剤や安定剤の処方に繋がることもあり、朝食を詰まらせ誤嚥や、ふらつきによる転倒等の懸念があった。

現在は、ライフリズムナビで睡眠が見える化されているため、医師の適切な評価に基づく処方に繋がっており、ドクターも評価しているとのこと。

楽しいことや、通院などの疲れるイベントがあると、やはり睡眠深度は深い睡眠でよく眠れている。利用者が「よく眠れなかったよ」と言っている日は、日中も寝ていて、前日の夜は寝付き悪い様子だった。など、睡眠の履歴を見るのが面白い！

**感覚的な評価 → データ(エビデンス)に基づく評価に変わる**

## 06 事例から考える(アセスメント編)

---

次のデータから、どんなことが考えられますか？

# 06 事例から考える(アセスメント編)

## ケース①

年齢: 77歳

性別: 男性

要介護度: 3

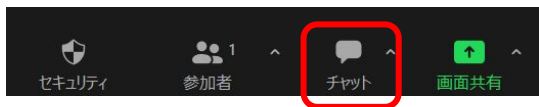
既往歴: レビー小体型認知症

ADL: 車いす移動

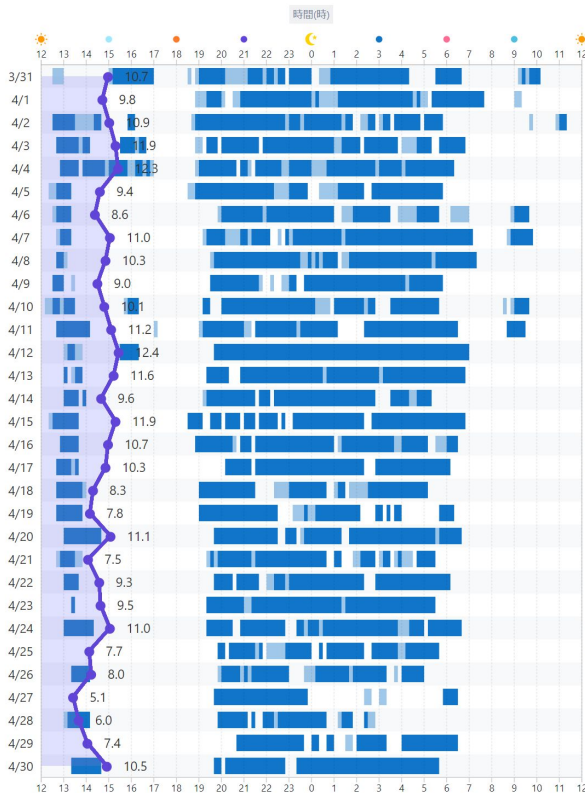
どんなことがわかるでしょうか？

気づいたことがあればお気軽に

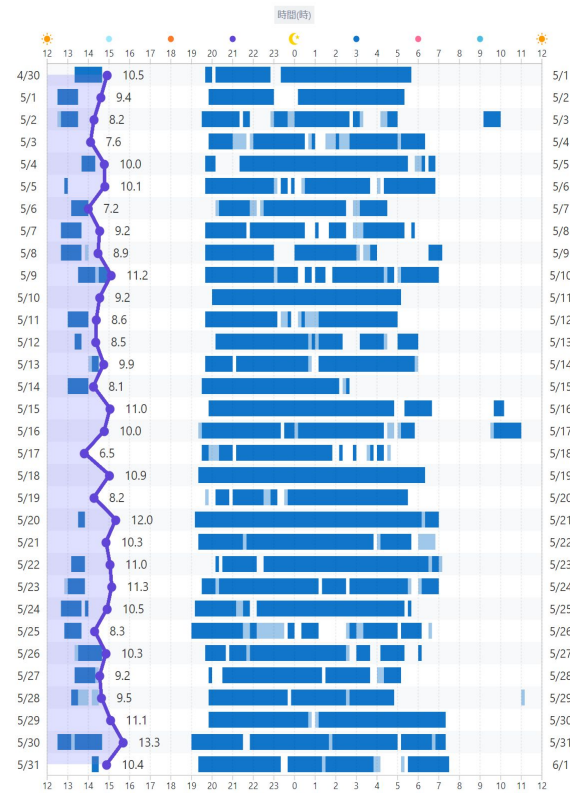
チャットへご記入ください！



睡眠ログ ◆1日の合計睡眠時間 在床及び体動 睡眠 データエラー



睡眠ログ ◆1日の合計睡眠時間 在床及び体動 睡眠 データエラー





# 06 事例から考える(アセスメント編)

## ケース①

年齢: 77歳

性別: 男性

要介護度: 3

既往歴: レビー小体型認知症

ADL: 車いす移動

課題: おむつ外し

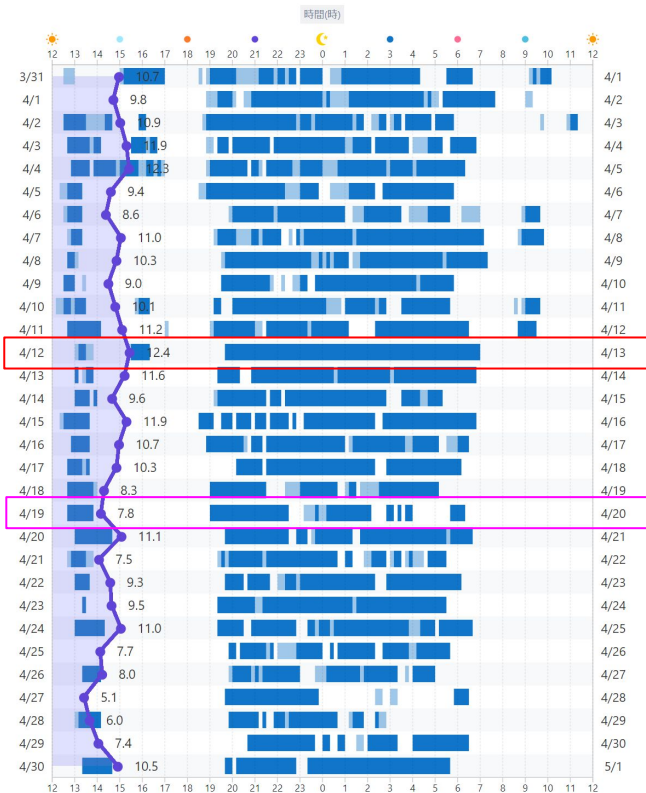
昼夜逆転

対策: ベッド活動アラートの

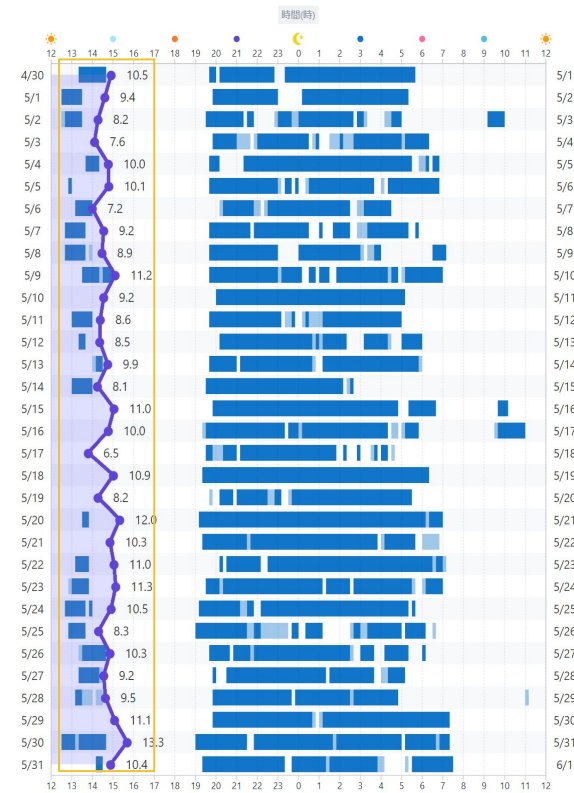
秒数調整が難しいため

離床アラートを設定中

睡眠ログ ◆1日の合計睡眠時間 在床及び体動 睡眠 データエラー



睡眠ログ ◆1日の合計睡眠時間 在床及び体動 睡眠 データエラー



# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース①

年齢:77歳

性別:男性

要介護度:3

既往歴:レビー小体型認知症

ADL:車いす移動

課題:おむつ外し

昼夜逆転

対策:ベッド活動アラートの

秒数調整が難しいため

離床アラートを設定中

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日

令和05年04月14日

利用者氏名

様

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容			
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	担当者	頻度	期 間
#1 施設での生活に慣れて頂く必要がある <自立支援促進計画>	自身のペースで施設での暮らしを楽しむ	R05.04.15~ R05.08.31	生活のリズムを整える	R05.04.15~ R05.08.31	①声掛けをしながら、本人のペースで車椅子を自操して頂く。 ②食事は、エプロンを使用する。自己摂取しやすいように食器類を並べる。 ③日中は、出来る限り起きて頂き、ホールで皆さんとお話をし、生活のリズムを整える。 ④お屋に休んで頂いた後は、ホールまで職員と一緒に歩行器で行く。 ⑤他職種で情報共有する。また、ご家族様にも状態報告を行う。	医師、看護師、介護職員、管理栄養士、機能訓練指導員	毎日 毎日 適宜 適宜	R05.04.15~ R05.08.31
#3 新しい環境に慣れ穏やかに過ごしてほしい。 (個別機能訓練計画) レビー小体型認知症、H27左大腿悪性軟部腫瘍、左大腿骨折	穏やかに過ごす。	R05.04.15~ R05.08.31	新しい環境に慣れる。	R05.04.15~ R05.08.31	①リハビリ体操・起立、歩行訓練(歩行器) ②日中、状態を診ながらホールでの時間を設けて頂く。 ③日中、活動の場を設け体操等職員付添いにて歩行器でゆつ	機能訓練指導員	週1回 毎日 適宜	R05.04.15~ R05.08.31
#4 高齢によるADL低下、機能低下・認知症に関連した排泄介助が必要である。 トイレ排泄を継続したい。 <排泄支援計画>	トイレ排泄を維持する。	R05.04.15~ R05.08.31	介助を受けトイレ排泄をする。	R05.04.15~ R05.08.31	排泄の状態に関するスクリーニング。支援計画書参照	医師、看護師、介護職員、機能訓練指導員	毎日	R05.04.15~ R05.08.31
#5 高齢の為皮膚の脆弱。紙パンツ使用による皮膚トラブルから褥瘡へ移行する可能性がある。 褥瘡は作らない。 <褥瘡マネジメント計画>	褥瘡がない。	R05.04.15~ R05.08.31	褥瘡好発部位の皮膚トラブルがない。	R05.04.15~ R05.08.31	褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書参照	医師、看護師、介護職員、管理栄養士、機能訓練指導員	毎日	R05.04.15~ R05.08.31

# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース①

年齢:77歳

性別:男性

要介護度:3

既往歴:レビー小体型認知症

ADL:車いす移動

課題:おむつ外し

昼夜逆転

対策:ベッド活動アラートの

秒数調整が難しいため

離床アラートを設定中

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日

令和05年04月14日

利用者氏名	様				サービス内容	援助内容			
	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	(期間)	短期目標		(期間)	担当者	頻度	期間
#1 施設での生活に慣れて頂く必要がある <自立支援促進計画>	自身のペースで施設での暮らしを楽しむ	R05.04.15~ R05.08.31	生活のリズムを整える	R05.04.15~ R05.08.31	①声掛けをしながら、本人のペースで車椅子を自操して頂く。 ②食事は、エプロンを使用する。自己摂取しやすいように食器類を並べる。 ③日中は、出来る限り起きていき、ホールで皆さんとお話をして頂く。生活のリズムを整える。 ④お屋に休んで頂いた後は、ホールまで職員と一緒に歩行器で行く。 ⑤他職種で情報共有する。また、ご家族様にも状態報告を行う。	養士、機能	毎日		
	#3 新しい環境に慣れ穏やかに過ごしてほしい。 (個別機能訓練計画) レビー小体型認知症、H27左大腿悪性軟部腫瘍、左大腿骨折	穏やかに過ごす。	R05.04.15~ R05.08.31	新しい環境に慣れる。	R05.04.15~ R05.08.31	①リハビリ体操・起立、歩行訓練(歩行器) ②日中、状態を診ながらホールでの時間を設けて頂く。 ③日中、活動の場を設け体操等職員付添いにて歩行器で排泄の状態に関するスクリーニング。支援計画書参照	機能訓練指導員	週1回	R05.04.15~ R05.08.31
	#4 高齢によるADL低下、機能低下・認知症に関連した排泄介助が必要である。 トイレ排泄を継続したい。 <排泄支援計画>	トイレ排泄を継続する。					介護職		R05.08.31
#5 高齢の為皮膚の脆弱。紙パンツ使用による皮膚トラブルから褥瘡へ移行する可能性がある。 褥瘡は作らない。 <褥瘡マネジメント計画>	褥瘡がない。	R05.04.15~ R05.08.31	褥瘡好発部位の皮膚トラブルがない。	R05.04.15~ R05.08.31	褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書参照	員、管理栄養士、機能訓練指導員			

ライフリズムナビのデータを家族を含めた多職種で情報共有する。

ライフリズムナビのデータをもとに服薬調整の検討。

おむつ外しのあった時間の把握、排泄介助のタイミングを検討/実施。

ライフリズムナビで生活リズムを把握する。

睡眠リズムに合わせて、就寝、起床介助の時間を検討/実施する。

ライフリズムナビで排泄時間等のデータを収集し排泄リズムを把握する。

排泄介助の時間をリズムに合わせて検討/実施する。

# 06 事例から考える(アセスメント編)

## ケース②

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

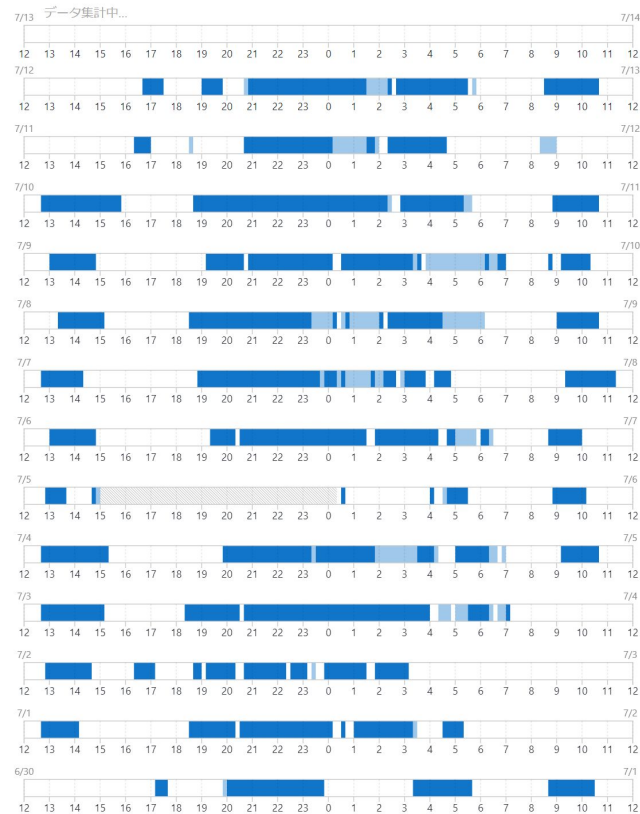
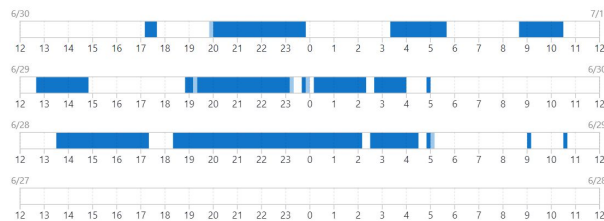
既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

■ 在床及び体動 ■ 睡眠 ■ データエラー

センサー取り込み:  ベッド



# 06 事例から考える(アセスメント編)

## ケース②

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

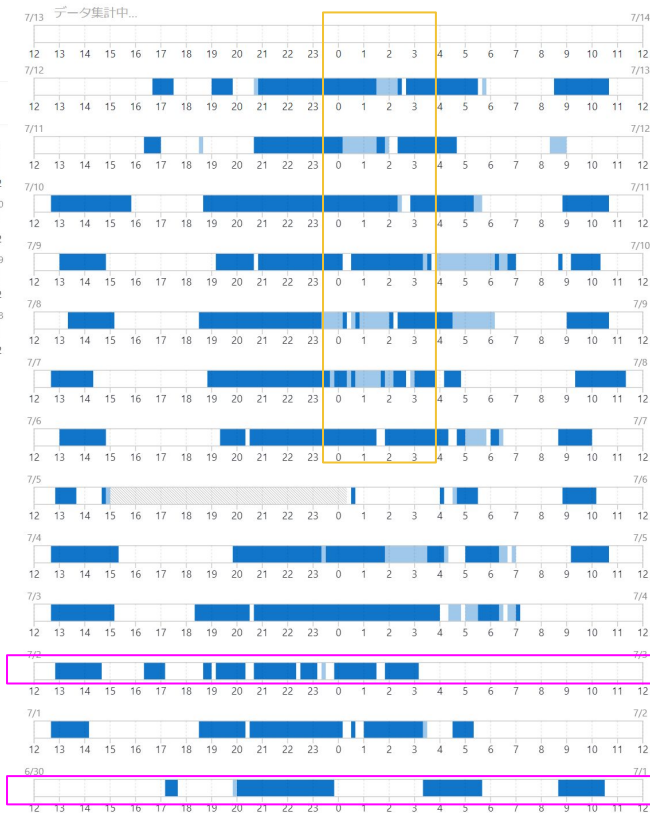
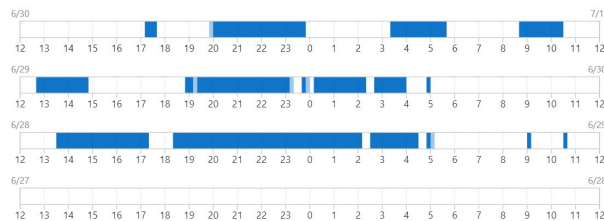
課題:昼夜逆転/夜間トイレ頻回

尿がでないこともあるため、  
スッキリせず何度も行かれてる。

職員の声掛けに易怒性あり。

■ 在床及び体動 ■ 睡眠 ■ データエラー

センサー取り込み:  ベッド



# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース②

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

課題:昼夜逆転/夜間トイレ頻回

尿がでないこともあるため、

スッキリせず何度も行かれてる。

職員の声掛けに易怒性あり。

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日

令和05年06月28日

利用者氏名 様

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容			
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	担当者	頻度	期間
低栄養状態リスク:中 糖尿病あり。 #1 血糖コントロールを図りたい <栄養ケア計画>	病状の安定を図りつつ、栄養状態を維持することができる	R05.06.28~ R05.07.11	必要栄養量を確保することができる	R05.06.28~ R05.07.11	①医師の指示に基づき、糖尿病食18単位(1440Kcal/日、蛋白質:52.2g/日)を提供する ②食事は主食:軟飯135g、副食:ソフトの形態で提供する ③好きなお飲物をお伺いし水分摂取を促す ④食事観察を週3回以上行い食事摂取状況の確認を行う ⑤適時栄養状態等の確認を行い、必要に応じて食事内容や環境を検討・変更する	介護職員、看護師、管理栄養士	毎日  毎日  週3回以上  適宜	R05.06.28~ R05.07.11
小刻み歩行で歩行不安定。認知症の進行で生活全般に支援が必要である #2 施設で穏やかに過ごして欲しい <自立支援促進計画>	施設で穏やかに過ごすことができる	R05.06.28~ R05.07.11	新しい環境に慣れ、安心して生活ができる	R05.06.28~ R05.07.11	①センサーベッドを使用することで安全にベッドから降りることができる ②歩行時の見守り、または手引ききか歩行器の使用を促し安全に移動していただきます ③歩行、口腔ケア、更衣、食事摂取等、自分で出来ることは自分でしていただき、できない所を介助します ④職員や他入所者とコミュニケーションをとり、安心して生活できるよう支援します ⑤介助にて爪切りや耳掃除を行い清潔を維持します ⑥レクリエーション、体操、散歩等の声掛けをし実施します ⑦居室内で安全に離床、夜間のポータブルトイレの使用が出来るよう環境を整えます	医師、介護職員、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員	毎日 毎日 毎日  適宜 適宜 毎日	R05.06.28~ R05.07.11
#3 新しい環境に慣れ穏やかに過ごしてほしい <個別機能訓練計画>	穏やかに過ごす	R05.06.28~ R05.07.11	環境に慣れる	R05.06.28~ R05.07.11	①リハビリ体操・手引き歩行訓練 ②居室~トイレ、ホール移動時	機能訓練指導員 介護職員、看護師、機	週1回 毎日	R05.06.28~ R05.07.11 R05.06.28~ R05.07.11



# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース②

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日

令和05年06月28日

利用者氏名 様

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容			
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	担当者	頻度	期間
アルツハイマー認知症、糖尿病、高血圧、アルコール依存症。起立歩行不安定、付き添う 認知症の進行の為口腔ケア、義歯の手入れが不十分、またはできない #4 口腔内の清潔を保つことができる <口腔衛生管理計画>	整容面での清潔が維持できる	R05.06.28~ R05.07.11	口腔内の清潔が維持できる	R05.06.28~ R05.07.11	③離床の機会を設け日中、ホールでの時間を設けて頂く ④コミュニケーションを図り穏やかに過ごして頂く ①声掛けにて口腔ケアを行って頂き、食物残渣の残っている部分の口腔ケアを職員が実施します ②義歯の洗浄を行って頂いたのち、不十分な所を職員が洗浄します。職員により週に2回夜間に義歯洗浄剤を使用します ③専門職によるケアを月に2回実施します	能訓練指導員 介護職員、歯科医師	毎日 毎日、週2回	R05.06.28~ R05.07.11
パンツおむつ使用中であるが失禁はなし 歩幅狭く、歩行は不安定。トイレまで付き添い排泄できている #5 トイレで排泄したい <排泄支援計画>	援助を受けて排泄できる	R05.06.28~ R05.07.11	付き添うことでトイレで排泄できる	R05.06.28~ R05.07.11	①手引き、または歩行器の使用を促し、トイレでの排泄が維持出来るよう支援します。 ②定期的、また随時のおむつ交換を行い、清潔を維持します。 ③排便コントロールを行い定期的に排便が出来るよう支援します。	医師、介護職員、看護師、機能訓練指導員	毎日 毎日	R05.06.28~ R05.07.11
糖尿病の既往があり、傷が治りにくい可能性がある 高齢で皮膚が脆弱であるため、褥瘡発生リスクあり #6 痛いのは嫌なので褥瘡は作りたくない <褥瘡マネジメント計画>	褥瘡が発生しない	R05.06.28~ R05.07.11	皮膚のトラブルを起こさない。皮膚トラブルがあっても施設内の対応で治癒できる	R05.06.28~ R05.07.11	①体圧の分散、密着による皮膚の湿潤、摩擦とずれによる皮膚の刺激の軽減を適宜行います ②皮膚に異常がある時は医療職と連携し適切な処置を行います ③食事摂取量のチェックを行い摂取量の減少があれば管理栄養士と連携し対応します	医師、介護職員、看護師、管理栄養士、医療職訓練指導員	適宜 適宜 毎日、適宜	R05.06.28~ R05.07.11

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

課題:昼夜逆転/夜間トイレ頻回

尿がでないこともあるため、

スッキリせず何度も行かれてる。

職員の声掛けに易怒性あり。

# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース②

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

課題:昼夜逆転/夜間トイレ頻回

尿がでないこともあるため、

スッキリせず何度も行かれてる。

職員の声掛けに易怒性あり。

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日

令和05年06月28日

利用者氏名 様

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容			
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	担当者	頻度	期間
低栄養状態リスク:中 糖尿病あり。 #1 血糖コントロールを図りたい <栄養ケア計画>	病状の安定を図りつつ、栄養状態を維持することができる	R05.06.28~ R05.07.11	必要栄養量を確保することができる	R05.06.28~ R05.07.11	①医師の指示に基づき、糖尿病食18単位(1440Kcal/日、蛋白質:52.2g/日)を提供する ②食事は主食:軟飯135g、副食:ソフトの形態で提供する ③好きなお飲物をお伺いし水分摂取を促す ④食事観察を週3回以上行い食事摂取状況の確認を行う ⑤適時栄養状態等の確認を行い、必要に応じて食事内容や環境を検討・変更する	介護職員、看護師、管理栄養士	毎日	R05.06.28~ R05.07.11
小刻み歩行で歩行不安定。認知症の進行で生活全般に支援が必要である #2 施設で穏やかに過ごしてほしい <自立支援促進計画>	施設で穏やかに過ごすことができる	R05.06.28~ R05.07.11	新しい環境に慣れ、安心して生活ができる	R05.06.28~ R05.07.11	①センサーベッドを使用することで安全にベッドから降りることができる ②歩行時の見守り、または手引きか歩行器の使用を促し安全に移動していただきます ③歩行、口腔ケア、更衣、食事摂取等、自分で出来ることは自分でしていただき、できない所を介助します ④職員や他入所者とコミュニケーションをとり、安心して生活できるよう支援します ⑤介助にて爪切りや耳掃除を行い清潔を維持します ⑥レクリエーション、体操、散歩等の声掛けをし実施します ⑦居室内で安全に離床、夜間のポータブルトイレの使用が出来るよう環境を整えます	医師、介護職、看護師、養護士	毎日	R05.06.28~
#3 新しい環境に慣れ穏やかに過ごしてほしい <個別機能訓練計画>	穏やかに過ごす	R05.06.28~ R05.07.11	環境に慣れる	R05.06.28~ R05.07.11	①リハビリ体操・手引き歩行訓練 ②居室~トイレ、ホール移動時は職員手引きにより歩いて頂く	介護職員、看護師、機	毎日	R05.06.28~ R05.07.11

ライフリズムナビで生活リズムを把握する。

睡眠リズムに合わせて、就寝・起床介助の時間を検討/実施する。

ベッド活動アラートを体動10秒で鳴るように設定する。



# 06 事例から考える(ケアプラン編)

## ケース②

6/28 新規入居の方

年齢:80歳

性別:男性

要介護度:4

既往歴:アルツハイマー型認知症

アルコール依存症

ADL:車いす移動

課題:昼夜逆転/夜間トイレ頻回

尿がでないこともあるため、

スッキリせず何度も行かれてる。

職員の声掛けに易怒性あり。

第 2 表

施設サービス計画書(2)

作成年月日 令和05年06月28日

利用者氏名 様

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				サービス内容	実施日	実施回数	実施場所
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)				
アルツハイマー認知症、糖尿病、高血圧、アルコール依存症。起立歩行不安定、付き添う 認知症の進行の為口腔ケア、義歯の手入れが不十分、またはできない #4 口腔内の清潔を保つことができる <口腔衛生管理計画>	整容面での清潔が維持できる	R05.06.28~ R05.07.11	口腔内の清潔が維持できる	R05.06.28~ R05.07.11	③離床の機会を設け日中、ホールでの時間を設けて頂く ④コミュニケーションを図り穏やかに過ごして頂く ①声掛けにて口腔ケアを行って頂き、食物残渣の残っている部分の口腔ケアを職員が実施します ②義歯の洗浄を行って頂いたのち、不十分な所を職員が洗浄します。職員により週に2回夜間に義歯洗浄剤を使用します ③専門職によるケアを月に2回実施します	介護職員、 歯科医師	毎日、週2回	R05.06.28~ R05.07.11
パンツおむつ使用中であるが失禁はなし歩幅狭く、歩行は不安定。トイレまで付き添い排泄できている #5 トイレで排泄したい <排泄支援計画>	援助を受けて排泄できる	R05.06.28~ R05.07.11	付き添うことでトイレで排泄できる	R05.06.28~ R05.07.11	①手引き、または歩行器の使用を促し、トイレでの排泄がスムーズに出来るよう支援します。 ②定期的、また随時のおむつ交換を行い、清潔を維持します。 ③排便コントロールを行い定期的に排便が出来るよう支援します。	介護職員、 補佐職員	毎日	R05.06.28~ R05.07.11
糖尿病の既往があり、傷が治りにくい可能性がある 高齢で皮膚が脆弱であるため、褥瘡発生リスクあり #6 痛いのは嫌なので褥瘡は作りたくない <褥瘡マネジメント計画>	褥瘡が発生しない	R05.06.28~ R05.07.11	皮膚のトラブルを起さない。皮膚トラブルがあっても施設内の対応で治癒できる	R05.06.28~ R05.07.11	①体圧の分散、密着による皮膚の湿潤、摩擦とずれによる皮膚の刺激の軽減を適宜行います ②皮膚に異常がある時は医療職と連携し適切な処置を行います ③食事摂取量のチェックを行い摂取量の減少があれば管理栄養士と連携し対応します	医師、介護職員、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員	適宜  適宜 毎日、適宜	R05.06.28~ R05.07.11

ライフリズムナビで生活リズムを把握し、生活リズムに合わせた声掛けを実施する。

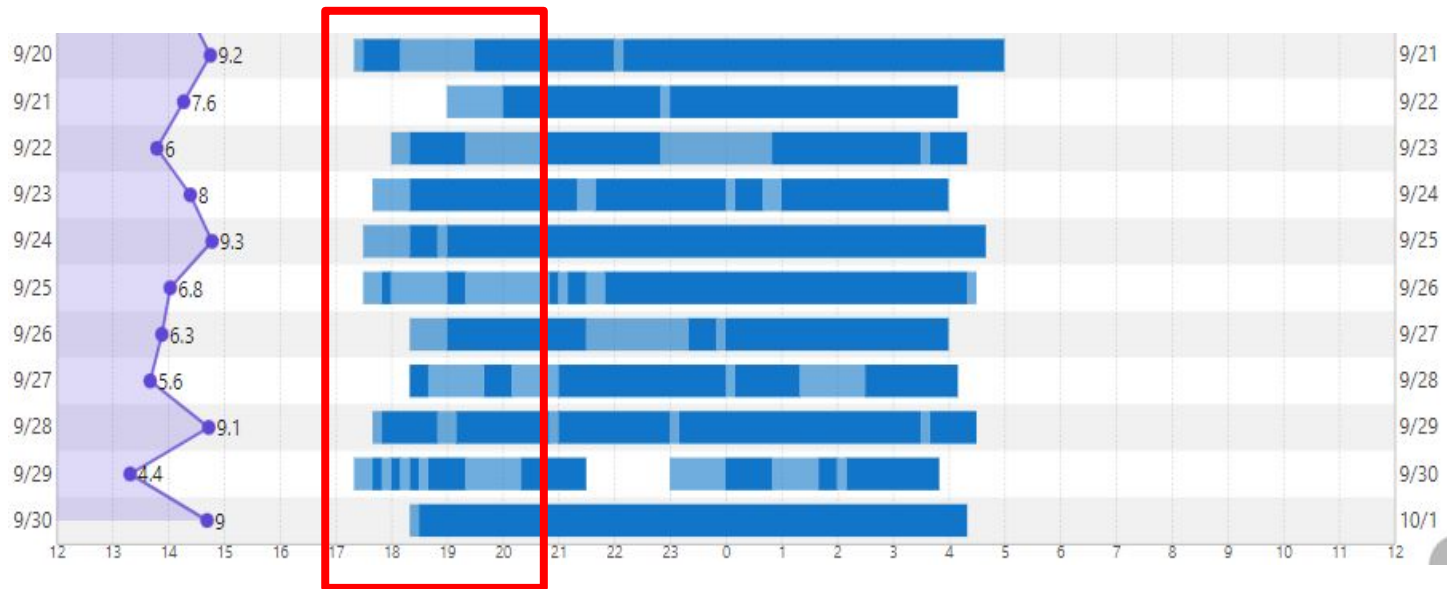
ライフリズムナビで夜間の排泄リズムを把握する。

排泄データを共有し服薬調整を検討する。

## 06 事例から考える(モニタリング編)

### モニタリングへの活用例

ケアプラン上で「排泄の状態把握」を位置づけていました。

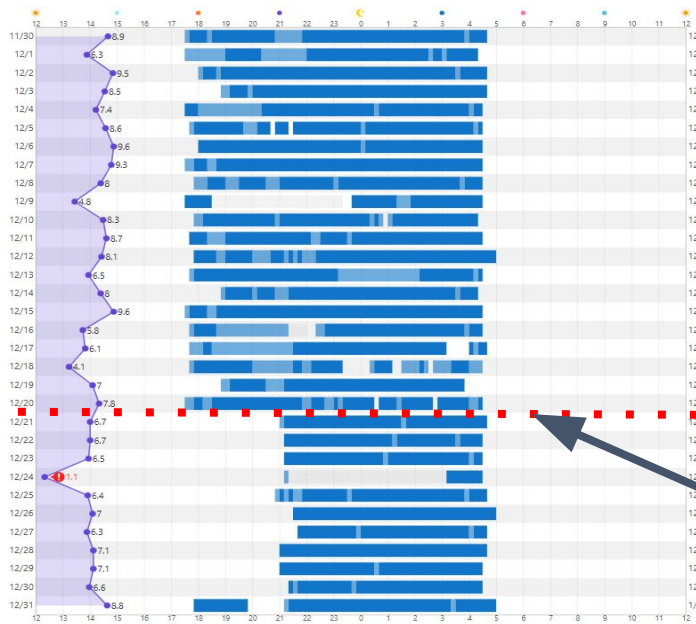


実際にモニタリングしたところ、就寝後に、おむつ外しや体動が多くあることがわかりました。

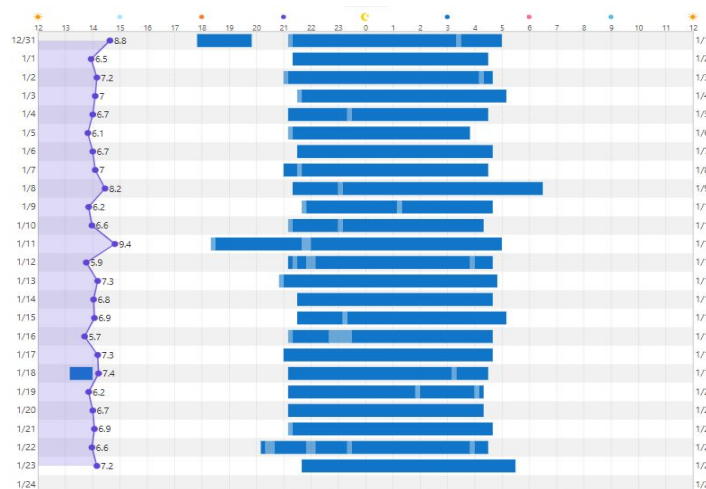
# 06 事例から考える(モニタリング編)

## モニタリングへの活用例

12月1日～12月31日



1月1日～1月20日

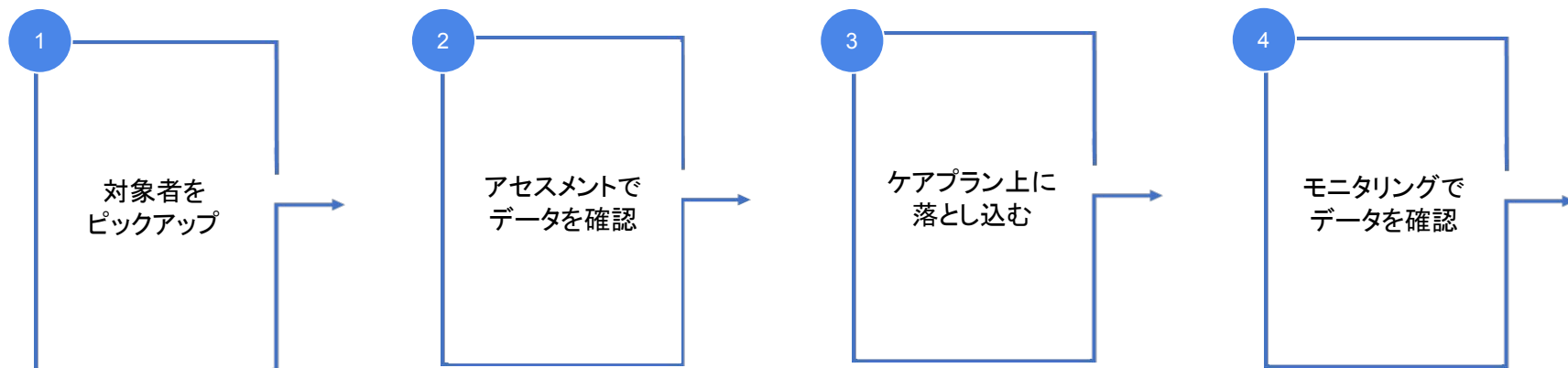


赤線の日から、21時に就寝ケアを統一開始。  
朝まで離床や体動無くお休みになられるようになった。

## 07 ケアプランへの活用STEP

ケアマネジメントにライフリズムナビを活用するために

まずは**ライフリズムナビを使ってみる!** ことを目標にスタート



ケアプラン上に落とし込むことで、ライフリズムナビデータを活用することが当たり前になり、エビデンス(データ)に基づくケアも当たり前になる。

## 08 データの保管について

### データ保管方法

入居者が退所されると、データも **削除**されます。  
退所後は、過去データを **閲覧**することができなくなります。

**各施設で運用方法を決めておく必要あり！**

- ▼ 紙ベースで保管
- ▼ PDFなどのデータ上で保管
- ▼ 毎月、退所時、ケアプラン作成時等にデータを保管

## 08 データの保管について

---

### データ保管方法

#### ①印刷方法(PDF)

保管したいページを表示し印刷する際に倍率にて調整

#### ②画面キャプチャ

##### ショートカットキー

Windows:「shift」+「Windows」+「S」

Macbook:「shift」「command」「3」

##### アプリケーション

「Snipping Tool」などのアプリケーションを使用して

Word等に貼り付けしてPDF化

## 09 質疑応答

### 本日のおさらい

- 01 ライフリズムナビで実現可能なこと
- 02 基本的な使い方
- 03 アセスメントへの活用
- 04 ケアプランへの活用
- 05 モニタリングへの活用
- 06 事例から考える
- 07 ケアプランへの活用STEP
- 08 データの保管について
- 09 質疑応答



本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営: エコナビスタ株式会社

〒261-0023

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869